



世界経済のトレンド丸解り！今週の注目レポート



このコーナーでは、フィナンシャル・インテリジェンス部に配属された新人のルミが「世界経済の今・そしてこれから」を把握するために是非読んでおきたい、今週の重要レポート・ニュース記事を紹介します。（原則月曜日更新）

「広木部長、おはようございまーす！！」

「お、おはよう榎原くん。」

「昨日、高校時代の友達と久しぶりにディズニーランドに行ってきたんですよ～。広木部長にお土産買ってきましたよ！はい、こちらになります！」

「（おっ、榎原くんたまには気が利くじゃないか…！）…ってなんじゃこれ！！」

「ミッキーとミニーのカチューシャですよ。え、広木部長知らないんですか？」

「カチューシャくらい知ってるよ！なんでこれをチョイスしたのかと聞きたいのだよ！」

「先週、広木部長に小学生のお嬢様がいると同ったので、お土産はこれしかないかなと思ひまして！お嬢様と一緒につけられるように2つ買いました！！（自信たっぷり）」

「榎原くん、申し訳ないが、これをもらうことはできない…」

「え～、せっかく買ってきたのに～！どうしてですか？つけるの恥ずかしいからですか??」

「違うんだよ榎原くん…」

「なにが違うんですか！！可愛いお嬢さんのために一緒に可愛いカチューシャをつけて素敵な一日を過ごしたいとは思わないんですか?!」

「違うんだって！このカチューシャもう持ってるんだって！！！」

「えー！（驚愕）じゃあ広木部長、ディズニー行くときはこのカチューシャいつもつけてるってことですか？」

「当然だ！カチューシャは娘から欲しいと頼まれる前から既にもう持っていた！ディズニーランドは夢と魔法の王国だぞ？動きやすいラフな格好を選んでカチューシャつけて周るのが基本スタイルだろ！！！」

「…(° □ ° ;) (啞然)」

「ふっはっは！！なーに言葉を失っているんだね！！そんなことよりも今週のレポートはどうした？ディズニーに行ってたから終わりませんでしたとは言わせないぞ」

「課題はちゃんとやってきました。こちらになります。」





今週の注目レポート・重要ニュース

■ 経済指標や重要イベントなど

【1.米国】

先週の米国株式市場は上昇しました。カンファレンス・ボード消費者信頼感指数や4-6月期のGDP改定値など、発表された経済指標の多くが市場予想を上回る好内容だったことが好感されました。S&P500は史上初めて終値で2,000ポイントに到達、ナスダック総合指数も年初来高値を更新しました。

1-1. 新築住宅販売件数

25日に発表された新築住宅販売件数は年率換算41.2万件と前月から販売件数は増加したものの、市場予想の増加率には及びませんでした。先に発表されたNAHB住宅市場指数や中古住宅販売件数で住宅市場の底入れ機運は高まったものの、新築住宅販売件数については販売件数に勢いは感じられませんでした。

1-2. カンファレンス・ボード消費者信頼感指数

26日に発表されたカンファレンス・ボード消費者信頼感指数は92.4と前月(90.9)からの悪化を予想していた市場予想を大幅に上回って、前月から改善しました。先に発表されたミシガン大学消費者信頼感指数の速報値が悪化していたために、カンファレンス・ボードも悪化が懸念されていましたが、結果的にミシガン大学消費者信頼感指数も確報値で大きく上方修正されており、個人消費の先行指標である消費者センチメントは堅調に推移していることが確認されました。

1-3. 4-6月期GDP(改定値)

28日に発表された4-6月期のGDP改定値は前期比年率で4.2%増と速報値の4.0%増から上方修正されました。

1-4. ISM製造業景況感指数

9月2日にISM製造業景況感指数が発表されます。先行指標である各地区連銀の発表する製造業指数やシカゴ購買部協会景気指数が堅調な内容だったことから、ISM製造業指数も好内容が期待されています。

1-5. 雇用統計

9月5日に雇用統計が発表されます。労働市場の先行指標である新規失業保険申請件数が順調に減少傾向を続けていることから、非農業部門雇用者数は労働市場の堅調な改善の目安とされる前月差20万人増を上回る22万5000人増が予想されています。

詳細は「米国株 Market Pick Up 今週の注目ポイント」をご覧ください。



【2.欧州】

ドラギ ECB（欧州中央銀行）総裁がジャクソンホールの講演で「インフレ鈍化に対してあらゆる手段を講じて対応する用意がある」と表明したことから追加の金融緩和期待が高まり、ユーロ安が進行し欧州の主要な株式市場は上昇しました。

2-1. ECB 理事会

4 日に ECB 理事会が開催されます。政策金利の引き下げや国債購入（QE）などを発表するかどうか注目されます。

【3.日本】

日経平均は 1 万 5500 円を上回る水準では上値が重く、週間ベースで小幅に下落しました。大型株には積極的な買いが入りづらい中で小型株に資金が流入し、東証 2 部指数は 8 月 13 日から 29 日まで 13 連騰を達成しました。

3-1. 金融政策決定会合

9 月 3 日から 4 日にかけて日銀の金融政策決定会合が発表されます。今月の会合で追加金融緩和が決定される可能性は低いと思われませんが、足元で消費増税の影響から個人消費が弱まっていることを受け、今後の金融政策について何らかの示唆がないかどうか注目されます。

【4.中国】

上海総合指数は週間で 1%下落し、7 週ぶりに下落しました。IPO 再開による需給悪化懸念や PMI 発表を控えた利益確定売りが優勢となりました。

詳細は「中国株 Market Pick Up 今週の注目ポイント」をご覧ください。

詳細レポートは以下をご参照ください。

- [日本][チーフ・ストラテジスト広木隆の「ストラテジーレポート」](#)
- [日本][シニア・マーケットアナリスト金山敏之の「投資のヒント」](#)
- [日本][フィスコの「週刊マーケット展望」\(ログイン後限定レポート\)](#)
- [日本][J.P.Morgan \(J.P.モルガン\) 社や TIW 社の「アナリストレポート」\(ログイン後限定レポート\)](#)
- [米国][米国株 Market Pick Up 今週の注目ポイント](#)
- [中国][中国株 Market Pick Up 今週の注目ポイント](#)
- [その他] [J.P.Morgan \(J.P.モルガン\) 社の、「マクロ経済レポート ウィクリー・データ・ウォッチ」「グローバル・データ・ウォッチ」\(ログイン後限定レポート\)](#)



グローバル・マクロ・ビュー（世界経済の基本観）

1.日本（赤字は前回からの変更点）

経済指標の鈍化が目立つ。消費税引き上げ決定に向けた政策期待が高まる。

2.米国（前回からの変更なし）

景気回復鮮明に。QE は秋に終了、来年の利上げ時期が焦点に。

3.欧州（赤字は前回からの変更点）

低インフレ改善せず量的緩和期待が台頭。ECB は追加金融緩和を実施へ。

4.新興国（前回からの変更なし）

最悪期は脱しつつある。政治の安定化など好材料も。

「いやー、それにしても広木部長おちゃめな一面もあるんですね！そんなにディズニー好きだとは思いませんでした。」

「それはよく言われるな～。真面目そうに見えるからかな。年間パスポートも持ってるぞ。ほれ、そのカチューシャちょっと貸してみろ、つけるとこんなかんじだ」

「…?! (オフィスで自ら率先してカチューシャつけちゃったよ部長…。でも意外と似合う…むしろかなり似合う…)」

「好きなアトラクションはプーさんのハニーハント、あのプーさんの可愛さがたまらんな。プーさんが出ているショーも全て毎回必ず見ている。ショーのためについに一眼レフまで買ってしまっね～ふっはっは」

「(まさかの完全なるディズニーオタクだ…話が長くなりそうだなあ…(-_-))」



利益相反に関する開示事項

マネックス証券株式会社は、契約に基づき、オリジナルレポートの提供を継続的に行うことに対する対価を契約先証券会社より包括的に得ておりますが、本レポートに対して個別に対価を得ているものではありません。レポート対象企業の選定はマネックス証券が独自の判断に基づき行っているものであり、契約先証券会社を含む第三者からの指定は一切受けておりません。レポート執筆者、並びにマネックス証券と本レポートの対象会社との間には、利益相反の関係はありません。

- ・当社は、本レポートの内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。
- ・記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。
- ・提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。
- ・当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 日本投資顧問業協会